

参議院議員

森ゆうこ

特集号

立憲民主党参議院比例第24 総支部編集部
総支部長 参議院議員 森ゆうこ
〒299-1902 千葉県安房郡鋸南町保田 1322
TEL.03-6550-1003
FAX.03-6551-1003
E-mail yuuko_mori@sangiin.go.jp

森ゆうこ元秘書

土田竜吾県議 新潟県知事選への 挑戦を決断!



37歳、若い感性と新しい力で新潟の未来・希望をつくります!

5月14日告示、5月31日に投票となる新潟県知事選挙に向け、立憲民主党新潟県連は3月27日開催の常任幹事会において土田竜吾新潟県議会議員の擁立を決定いたしました。

同日、働く仲間のみなさんで構成される連合新潟も土田竜吾県議への推薦を決めました。

土田竜吾県議は上越市で有機野菜や自然食品を販売する「八百屋の土田」を起業。

森ゆうこ参議院議員の秘書などを経て2023年の新潟県議会議員選挙に当選。現在37歳です。

土田竜吾県議は新潟県知事選挙への挑戦にあたり、以下のように語っています。

「このたびの新潟県知事選挙に立候補させていただく決意を固めました」

「私はまだ37歳、若輩者ではありますが、ふるさと新潟を思う気持ちには誰にも負けない」

「県政に向かって、新しい力・若い力が必要ではないかと、私自身ずっと思っていた。なかなか候補者擁立に

ついては難しい部分もあったように思っていますが、やはりこの厳しい局面でも、しっかりと県民の皆様様に『新しいリーダー像』を示せるのは私しかない」また、選挙戦における大きな争点とされる柏崎刈羽原発問題に関しては「私のほうが、もっとしっかりと県民の意思を受け止められるという思いを、私自身は思っている。で、そこをしっかりと県民の皆様様に訴えていけるように」と語っています。

現職である花角英世知事は「原発再稼働に関して県民に信を問う」と公言してきましたが、県民投票や出直し選挙ではなく県議会に諮っただけでした。

土田竜吾県議の挑戦にあたっては政治の師である森ゆうこの後押しが大きく関わっています。

森ゆうこは新潟県の新時代を切り拓く土田竜吾県議の挑戦を全面的に応援していきます。

閉塞感と停滞の新潟県政を大きく転換し、若い感性と新しい力で県民の暮らしに寄り添い、県民との約束を守るリーダーを。ぜひ新潟県知事選挙に大きなご注目とご期待をください。

参議院財政金融委員会にて 片山さつき財務相と対峙 国民目線に立った質疑を展開！



- スルガ銀行問題に苦しむ被害者に、国による全面救済を要望。
- 可処分所得の拡大、年金生活者への特例給付を提案。
- 防衛増税、国民負担の増大、年収の壁の逆転現象に懸念。
- 「サナエトークン」や片山大臣の事務所費問題等、政治とカネの問題を追及！
- 政府提出法案に懸念を抱く野党をまとめあげ、修正動議を提出！

そして物価高にあえぐ年金生活者へ政府資産の運用益を活用した特

な政治です。のかを示すのが本来の政治です。

また質疑では国民の生活が第一の視点から令和8年度予算案においてどれだけ国民の可処分所得が増えるのか、増やせるのかを片山さつき財務大臣、財務省官僚と議論をいたしました。

「積極財政」なる勇ましい言葉で国民をごまかすのではなく、実質的に国民がどう豊かになるのかを示すのが本来の政治です。

最後に「サナエトークン」なる高市早苗総理事務所周辺の人脈による無許可の暗号資産の発行被害について、また片山さつき財務大臣の政治資金収支報告書の不適切記載について取り上げました。

自民党政権においては政治とカネの問題が繰り返して発生しています。政治を正すためにも政権交代が必要です。

衆議院では与党が圧倒的な多数を占めています。参議院では少数与党です。

例給付の実現を提案しました。インフレ時においてもっとも苦しむのは年金生活者です。

併せて防衛増税、国民負担の増加、基礎控除の見直しによる665万円を超える方の手取り額の逆転現象を厳しく指摘しました。

高市一強の国会と評されますが、良識の府、参議院では強引な手法は許されません。

国民のために国会は熟議を尽くす責任があります。

参議院議員 森ゆうこ国会事務所

TEL(03)6550-1003 FAX(03)6551-1003

E-mail yuuko_mori@sangiin.go.jp

ポスター掲示にご協力ください



国会見学をしてみませんか
森ゆうこ事務所では国会見学を受け付けております。
政治の現場をご覧いただけます。

参議院議員 森ゆうこ国会事務所
TEL(03)6550-1003 FAX(03)6551-1003
E-mail yuuko_mori@sangiin.go.jp

LINE・Instagramの登録をお願いします。

